目が見えない・見えにくい人びとと共に

**音友通信**

１０月号　第１０号　2024（令和6）年１０月１５日発行

発行　特定非営利活動法人 **音友**

〒553-0006　大阪市福島区吉野2丁目15－1

電話番号　０６－６６９０－８７２２

FAX番号　０６－６６９０－８７２３

携帯番号　 ０８０－３８５６－３０５８

メール　　 [gh@onyu.jp](mailto:gh@onyu.jp)

ホームページ　リニューアル中

表紙の写真　　車椅子研修

　手押しし車を利用する利用者が増えています。車椅子を使用していたある全盲の利用者が、最近、手押し車に切り替え、歩けるし、疲れたら座れるし、と元気に外出を楽しんでいる。写真は、９月23日（月・祝）、車椅子や手押し車に関する三者研修を終えて、福島区民センターの前で。

目次

音友からのお知らせ / オンユーカレンダー 　　　　　　 　　　 　２

スキルアップ　新コーナー**「**視覚のお役だち情報」で生活を楽しく！

/ イベント案内　　３

こんにちは　杤尾　多佳恵（ガイドへルパー）　　　 / 編集後記 　4

**音友からのお知らせ**

実績記録票、印鑑廃止、GH名前も不要

10月から、実績記録票における利用者の印鑑は、不要です。その代わりに利用者確認欄に利用者苗字の代筆が必要です。

また、備考欄におけるヘルパー（GH）名も記載不要です。ヘルパー名が記載されていると、その利用者が誰に依頼しているかが他のへㇽパ―さんに知られます。そのことを嫌う苦情に基づき、ガイドの署名は廃止とさせていただきます。

逆に、当日の利用時間に関しては、何時間何分利用したか、記入してください。利用者にも、当日の利用時間が何時間であるかをお伝えください。なお、自治体によっては算定方法が異なりますので注意が必要です。いずれにしても、利用時間の管理を意識してください。

ご不明な点などございましたら、遠慮なくお問合せ下さい。よろしくお願いいたします。

**資格取得、社会保険適用相談・苦情の連絡先**

「音友通信」9月でお知らせしました通り、令和７年4月1日からGH養成研修のカリキュラムが変わります。カリキュラムの変更は、単にこれから新にGHの資格を取得する人たちだけの問題ではないと思います。同行援護に携るGHやスタッフなどにも影響していく、と思われます。何故なら、介護従事者の処遇改善を図るためには国は予算化しなければなりません。そのためには必然性や根拠が必要です。根拠の一つが資格や質の向上などであると考えられます。つまり、この厳しい社会状況において、安心して生活できるように処遇改選や社会的位置づけを確保するためには、GHやスタッフにも資格取得や質の向上が求められることになります。

　社会保険の適用や資格取得に関する相談および苦情は、下記までご連絡ください。

川越利信（０９０-７１０３-９５８９　または [t.kawagoe75@gmail.com](mailto:t.kawagoe75@gmail.com)）

または、事業所にメールや郵便等でご連絡ください。

オンユーカレンダー

10月22日（火）13時30分～15時30分

　　三者研修会―テーマ　情報提供・代筆代読

　　講師　雑賀　利幸氏

会場　福島区民センター　305号室

11月25日（月）13時30分～15時30分

　　三者研修会―テーマ　人権、拘束・虐待

　　講師　雑賀　利幸氏

会場　福島区民センター　304号室

12月7日（土）13時30分～15時30分

　　特別三者研修会　テーマ　記念日（ガイドヘルパーの日・障害者の日・音友設立記念日）

　　講師　未定

会場　未定

**スキルアップ**

**新コーナー「視覚のお役だち情報」で生活を楽しく！**

新たなコーナー「視覚のお役立ち情報」を掲載して欲しいと利用者の堤義典さんから投稿がありました。それぞれ利用者間が持っている情報をお互いに共有して、共感し、生活をより便利に楽しくしたい、とそんな13項目の具体案を添えての提案でした。

　投稿子曰く、「これらは（13項目）、私が実際困っていたことです。日常のちょっとした情報は、意外に入って来ません。しかし、日常のちょっとした情報は利用する側にとっては、たいへん貴重な情報となります」。

以下は、情報を寄せ合う堤義典さんの具体案です。

1. 視覚障害者が行って楽しかった商業施設や、観光地など。
2. 視覚障害者が利用し易い飲食店、美味しかったメニュー。
3. 爪つめを上手に切る方法・
4. お札や、硬貨の認識方法。
5. こんなことがスマホでできました、とか…。
6. こんな便利なアプリを使っています。
7. キャッシュレス決済で一番便利なものは。
8. 視覚障害に便利なサイトのURL。
9. 単独歩行で、エスカレーターの上り下りを見極める方法。
10. 大阪メトロの券売機で、音声だけでチャージができます、とか…。
11. 駅のホームドアの乗降口を知る方法。
12. 財布の中のカード類を区別する方法。
13. ICカードの、残り金額と履歴を確認する方法。

以上です。

**11月、キックオフ！**

皆さん、堤義典さんの提案に賛同し、毎月、テーマを決めて、利用者同士、11月号から情報を伝う合うことを提案します。

キックオフ号の11月号のテーマは、堤さんの13項目または自由とします。１２月号から、皆さんの希望に基づいてテーマを設定しましょう。メールや電話で事務局に投稿してください。

**イベント**

**カラオケ同好会**

**１０**月のカラオケ同好会を下記の通り行います。

日程　１０月１７日（木）１４時～１7時

会場　ビックエコー野田阪神駅前店

人数　８組16人

参加費　ひとり2千円　但し、付き添いは無料

　　　　飲み物、食事代は無料

連絡　　０６－６６９０－８７２２（音友）　担当：石本

**防災セミナー**

　大視協主催の防災セミナーが下記の要領で実施されます。

日時　　11月９日（土）14時～16時

会場　　市立社会福祉センター　301号室

参加費　無料

店員　　30名（付き添い者を含めて）

テーマ　連絡・通信を学ぶ

申込み　大視協事務局へ9月15日～10月31日の期間に。

電話 　 06-6765-5600

　　　　メール　koueki@daishikyo.org

**こんにちは**

杤尾　多佳恵（ガイドへルパー）

ガイドヘルパーの杤尾多佳恵さんに川越がお話をお伺いしました。

文責は、川越にあります。

　東京育ち。結婚後、ご主人と大阪に転居。何と、専業主婦！趣味は、かつては歌舞伎、宝塚。今は健康管理で、ヨガ。明るい話好きのポジティブなレディ。

　ガイドヘルパーになったのは、１年前の２０２３年6月。GHを目指すことになったきっかけは、初任者研修の時のこと。研修で、同行援護という仕事があることを知る。研修の帰路、偶然、大阪駅のホームで、視覚障害者の方と並んで電車を待つことに。その方は、出入口の真ん中に立っていて、降りて来る人達とぶつかるので、社内に案内し、ドアの所を掴んでもらう。実は、こんなケースを4回ほど経験。

そのたび、何と声をかけ、どうしたらいいのだろう、と思い悩む。その日、ＧＨになることを決め、早速、養成研修を受ける。まだ若葉マークなので、不安があるとか。不安の原因は、対話の問題のよう。あの人この人に関する噂話にはついて行きにくい。ポジティブな話題の引き出しをたくさん用意しておいて、いろんな人と上手に対話したい。

　努力目標は、コミュニケーション力。いろんな人とうまく対話でき、楽しく仕事ができるようになりたい。

　音友へのメッセージ。シフトをもう少し早くして欲しい。ぎりぎりになってからのシフトだと、空いていた予定も埋まってしまうことがある由。

編集後記

　堤義典さんからの便りは、嬉しく拝見しました。ほんとうにそうですよね、実際の生活ではちょっとした情報が大事なんですよね。11月から、ちょっとした生活情報を寄せ合いましょう。◆12月3日は、GHの日。ＧＨの仕事をライフワークにしたいと思う人が多くなるように、誇りを持ち、安心して働けて、利用者に喜んでもらえる、そんな仕事にしたいものです。そのためにも、資格の取得が大事。社会保険の適用も。（川越）